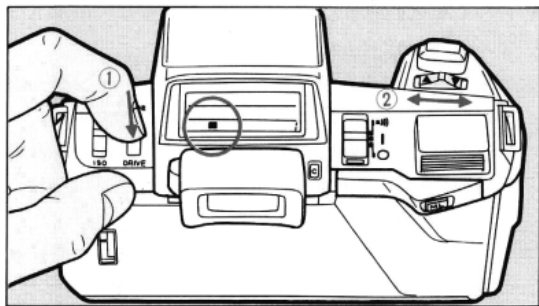




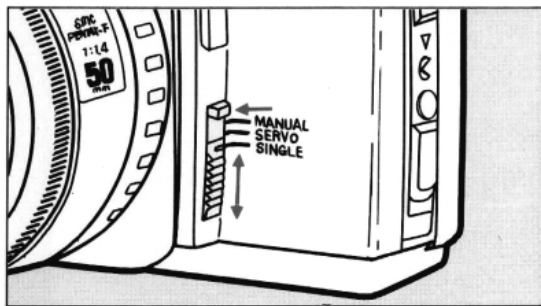
ドライブ〔DRIVE〕モード

図のように、ドライブ側に押しながらアップ・ダウンレバーを押して、希望のモード表示をセットします。アップ・ダウンレバーを押し続けると連続して表示移動を繰り返します。

☺ = セルフタイマー撮影〔50ページをご覧ください〕

■ = シングル撮影 シャッターボタンを押すとシャッターがきれ、巻上げられて停止します。

☺ = 連続撮影 シャッターボタンを押している間は連続撮影〔約1.8コマ/秒〕。



オートフォーカス

①AFシングル〔SINGLE〕

ピントが合うまでレンズが作動し、ピントが合うとシャッターをきることができます。

②AFサーボ〔SERVO〕

被写体が動けば、ピントが合うように追いつけます。シャッターはピント合わせに関係なくきれます。

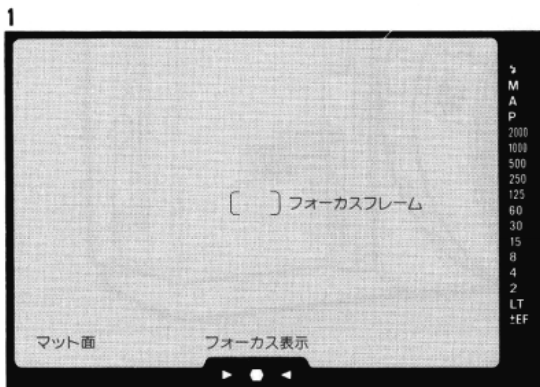
マニュアルフォーカス

③マニュアル〔MANUAL〕

ボタンを押しながらフォーカスモードレバーを押し上げます。フォーカス表示によりマニュアル〔手動〕でピントが合わせられます。

29

ピントの合わせ方〔オートフォーカス〕



1. ピントを合わせたいものに、ファインダー中央のフォーカスフレーム〔1〕を合わせます。
2. シャッターボタンを軽く押します。ファインダー内の〔○〕表示〔緑色〕が点灯すれば撮影できます。メインスイッチが〔●〕のときは、ピントが合うと電子音〔ピーピー〕が知らせます。

- Fズームレンズでは、ズームリングを回し、お好みの構図に決めて撮影ができます。
- オートフォーカス作動中は、距離リングに手をかけたり、回転を妨げたりしないでください。

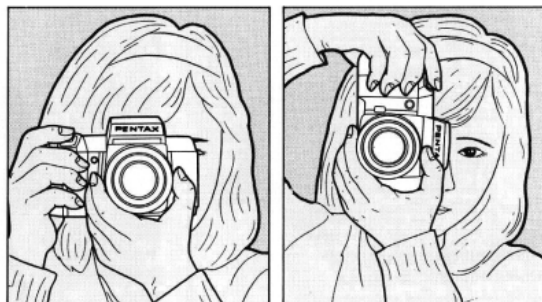
フォーカス表示	内 容
○ 〔緑色点灯〕	合焦表示 ピントが合った撮影ができます。
▼▼▼▼ 〔赤色点滅〕	ピント合わせができないときです。同じ被写体の明るい部分に合わせ直すと合焦する場合があります。オートフォーカスの苦手な被写体、33ページをごらんください。暗い場合は、ストロボ撮影をご利用ください。
▼▼▼▼ 〔赤色点灯〕	撮影距離が近いのでピントが合いません。もう少し離れてください。
▼▼▼▼ 〔赤色点滅〕	Fズームレンズのマクロ〔MACRO〕のときに、点滅表示します。 ▶ = 撮影距離が近いのでピントが合いません。 ◀ = 撮影距離が遠いのでピントが合いません。

A F シングル撮影

- ピントが合うまでシャッターがきれません。
- シャッターボタンを軽く押し、[○]表示が点灯している間は、ピントも固定されています。[フォーカスロック撮影は32ページをご覧ください。]
- ピントを合わせてから撮影方向を変えるときは、もう一度シャッターボタンを押し直します。
- シャッターボタンを急に押し込んだ場合は、ピントが合ってからシャッターがきれます。
- KA・Kマウントレンズを使って、被写体がある位置にあらかじめピントを合わせ、シャッターボタンを押したままにすると、ピントの合った瞬間にシャッターがきれる「スナッピンフォーカス撮影」ができます。

A F サーボ撮影

- ピント合わせに関係なくシャッターがきれます。シャッターボタンを軽く押し続けていればピント合わせが連続して行なわれ、動く被写体は追い続けます。
- [○]表示が点灯したときにシャッターをきると、ピントが合った写真になります。



カメラの構え方

撮影するときは、カメラの構え方が大切です。シャッターボタンは息を止めて静かに押します。[強く押すとカメラぶれしやすくなります。]

木や建物・テーブルなどを利用して、からだやカメラを安定させるのは良い方法です。

スローシャッターや超望遠レンズを使用するときは、三脚とケーブルスイッチFを使用してください。

31

フォーカスロックの使い方



こんなときは注意！

このまま撮影すると、写真のように人物にはピントが合わず、後方に合ってしまいます。

ピントを合わせたいものがファインダー中央のフォーカスフレーム[]からはずれているときは、次の説明順序のようにフォーカスロックを利用して撮影してください。なお、フォーカスロック撮影を行なうときは、フォーカスモードはA F シングルでお使いください。



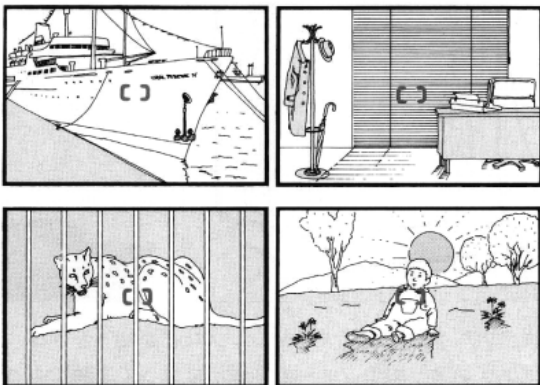
1. ピントを合わせたいものに、フォーカスフレーム[]を合わせてから、シャッターボタンを軽く押し続けてピントを合わせます。[○]表示の点灯や電子音「ピーピー」を確認してください。
2. シャッターボタンをそのまま軽く押した状態で、写したい構図に移動させてシャッターをきります。

- シャッターボタンを軽く押し、[○]表示が点灯している間はフォーカスロックされ、指を離すと解除します。何回でも繰り返すことができます。

オートフォーカスの苦手な被写体

オートフォーカス機構は高精度のものですが、万能ではないため被写体の明るさ・コントラスト・形状・大きさなどによっては、ピントが合わないことがあります。このような場合は、フォーカスロック撮影やマニュアルフォーカス撮影、また、暗い場所では内蔵ストロボを利用してお使いください。

- 白壁などコントラスト[明暗差]の非常に低い被写体。
- 赤外線を反射しにくい被写体。[真黒いものなど]
- 非常に速いスピードの被写体。
- 横線のみ被写体。細かい模様の被写体。
- 遠・近の物がフォーカスフレームの中で混在する。
- 反射の強い光、強い逆光、周辺が特に明るい被写体。



アクセサリーの注意

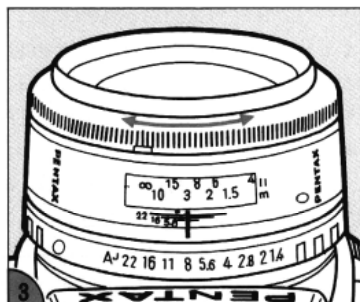
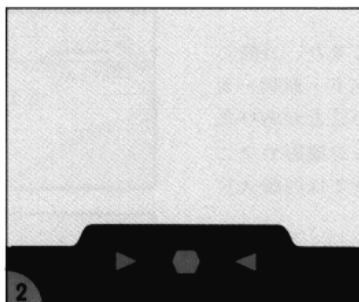
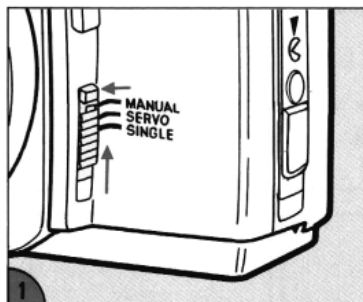
下記のアクセサリーでは、オートフォーカスやフォーカス表示による撮影ができません。マウント面をピントを合わせて撮影してください。

- 特殊フィルターやマジックイメージアタッチメント・ステレオアダプターなどを使ったとき。

- SFXはミラーにハーフミラーを使っているため、一般用偏光フィルターは使えません。円偏光フィルターをお使いください。
- 接写リングやオートベローズを使った拡大接写。

33

ピントの合わせ方[マニュアルフォーカス]



従来のペンタックスA・Mレンズなどを使うときは、ファインダー内のフォーカス表示に従って手動によるピント合わせができます。なお、Fレンズでも、オートフォーカスを使わないときは同じ操作になります。

フォーカス表示で利用できるレンズ

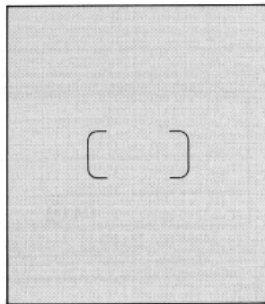
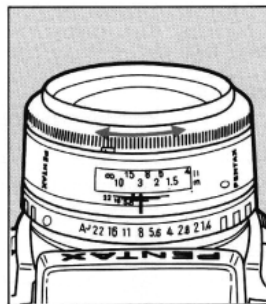
- Fレンズ[KAFマウント]、Aレンズ[KAマウント]
- Mレンズ・ペンタックスレンズ[Kマウント]

以上のレンズで、開放F値がF5.6以上の明るいレンズが使用できます。

1. マニュアルフォーカスにセットします。
2. シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー内のフォーカス表示[▶◻◀]のいずれかが表示します。
3. フォーカス表示の▶[右へ]または◀[左へ]の指示方向にレンズの距離リングを回します。[◻]表示[緑色]が点灯すれば撮影できます。メインスイッチが、[ON]のときは、電子音[ピーピー]が知らせます。

フォーカス表示

- ▶ 距離リングを右側へ回します[前ピン表示]
- ◀ 距離リングを左側へ回します[後ピン表示]
- ピントが合っている[合焦表示]
- ▶ ◀ ピント合わせができないときは。



フォーカス表示が利用できるレンズは、開放F値がF 5.6以上の明るいレンズです。1000mm F 8などの暗いレンズを使用した場合でも、コントラストのある被写体ではフォーカス表示[○]が出ることもあります。精度が劣ります。このようなレンズでは、マット面を使用してピントを合わせてください。

マット面によるピント合わせ

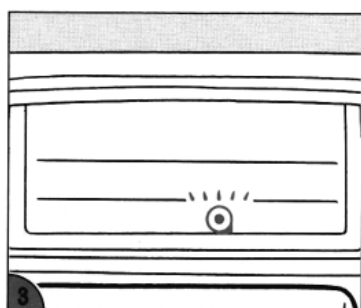
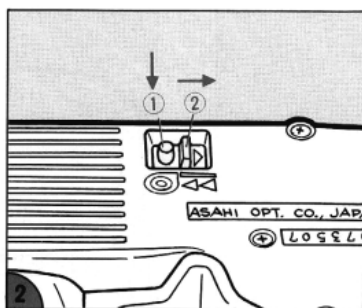
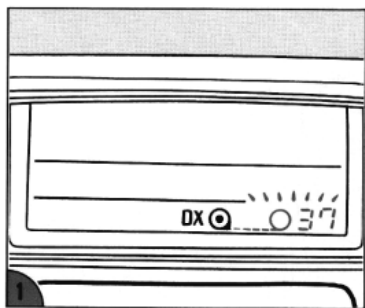
オートフォーカスの苦手な被写体や測距ができないとき、また、旧タイプのタクマーレンズにマウントアダプターK[別売]を取りつけて使うときなどは、ファインダー内のマット面によってピントを合わせます。

※ベローズ100mm F 4・シフト28mm F 3.5[シフト時]・レフタイプレンズは使用できません。これらのレンズはマット面でピント合わせをします。

- マニュアルフォーカスにセットします。
- レンズの距離リングを回し、写したいものがはっきり見えるところで止め、撮影します。

35

フィルムの巻戻し方[フィルムは直射日光が当たらないところで取出しましょう。]

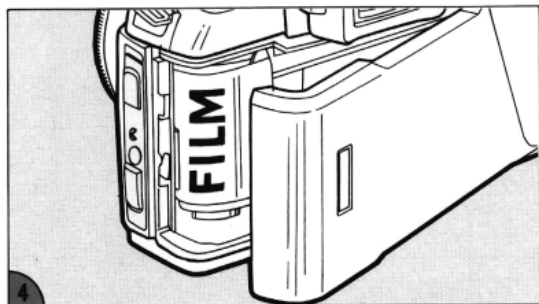


フィルムの最後まで撮り終わるとモーターは自動的に止まりますが、まだ裏ぶたを開けないでください。撮影したフィルムはパトローネに巻戻してから、裏ぶたを開いて取出します。

1. フィルムの最後まで撮り終わると、表示パネルのフィルム走行・巻取りマークやフィルムカウンターが点滅して知らせます。

2. カメラ底部①の巻戻しボタンを押し込みながら、②の巻戻しレバーを矢印方向に止まるまで動かすと、自動的にモーターが動いて巻戻しが始まります。動きだしたら指を離しても大丈夫です。

3. 巻戻し中は、フィルム走行マークが点滅します。巻戻しが完了すると空シャッターが1回きれてモーターは止まり、パトローネマークが点滅して知らせます。



4. 裏ぶたを開けてから、フィルムパトローネの下側に指をかけて取ります。

- 巻戻しは24枚撮りフィルムで約20秒です。
- フィルム巻戻し完了のパトローネマーク点滅を確認してから裏ぶたを開けてください。
- 使用フィルムの規定枚数を確認してお使いください。フィルムカウンターは0~99まで表示します。
- フィルムの規定枚数以上の撮影をすると、最後のコマは現像所でカットされる場合があります。



37

プログラム線図・測光連動範囲

